

寄り合い処通信 第3号



寄り合い処運営のご紹介

準備

1

- 準備物
消毒液

窓を開け換気をしながら準備をお願いします。その際に、机や椅子、ドアノブ等は消毒してください。

受付

2

- 準備物
手指消毒液または手洗い用せっけん
名簿 ・ 体温計 ・ マスク

参加者に、参加者名簿(名前・住所・電話番号・体温のチェック)をお願いします。基本は家で検温していただきますが、忘れた方は会場で検温をお願いします。マスクを忘れた方にはマスクを配布してください。また、手洗いまたは手指消毒をお願いします。



開催

3



参加者同士2m程度間隔を開け、座ってもらう。
全体の流れは、1時間～1時間半程度に時間短縮し、茶話会を中心とした活動を行っていく。
茶菓子を提供する際は、個包装のお菓子、ペットボトルや紙コップでお茶を提供する。

開催終了後

4

寄り合い処の振り返りを行い、全体の流れはどうだったか、参加者の様子はどうだったか、参加できなかった方へどう声かけをしていくか等、スタッフ同士で確認していく。



寄り合い処再開チェックリスト

〈再開する前に〉

- 寄り合い処の目的を確認する
- 寄り合い処の開催方法を確認する
(内容・準備物・時間等)
- スタッフ同士のコミュニケーションを強化する
- 寄り合い処に来ていた人達の足を遠ざけない
- 新しい参加者や協力者を得るチャンスに変える
- 地域の理解を得ながら再開する
- 社協等の専門機関・専門職と連携する
- 隣同士が適度な距離が保てる人数にする

〈いよいよ再開〉

- 広報(チラシ等)に盛り込む内容
 - 具体的な内容と安全策をほどこしていることを説明する
 - マスクの着用や検温、体調が悪い人の参加を控えるようお願いする
- 当日の備品の準備
 - マスクや消毒液、名簿等を準備する
 - 伝えるべきルールについてわかりやすい掲示物を作成する
 - 使い捨ての物品(紙コップなど)を利用する
 - お菓子は個包装された物を用意し、手作りの食事の提供は控える
- 開催内容
 - 歌を歌ったり、息が荒くなる内容は控える
 - 大声を出さず、マイクか黒板等で説明する
 - 再開後しばらくは時間を短くした内容にする
- スタッフの危機管理
 - 衛生管理面で注意すべき点、備品の使用方法を確認する
 - 体調不良者が出た場合の連絡、流れを確認する

以下を参考に、寄り合い処の状況に合わせてご対応下さい。

〈開催日〉

- スタッフの危機管理
 - 使用開始前に清掃と消毒、換気をする
 - 子どもがいる場合には、子ども用の除菌剤や手洗い用せっけん等を用意する
 - 椅子は可能な限り2mの間隔を保ち、不要な資材は出さない
- 受付
 - 参加者が一度に入場しないよう、スタッフが整理をする
 - 名簿(名前・住所・電話番号・体調)を記録し、咳や倦怠感がないか聞く
 - 手洗い・消毒液の使用を促す
 - マスクを持参していない場合は、マスクを支給する
- 開催中
 - 体調がすぐれない時は声をかけてもらうようにする
 - 途中で窓を開けたり、扇風機などで換気する
 - 茶話会では、参加者の最近の体調や様子を尋ねてみる
 - 参加者に寄り合い処の感想や不安な点はなかったかなどを聞く
 - 一斉に参加者が帰らないよう、時間をずらして退出させる
- 寄り合い処終了後
 - 会場の清掃を行い、消毒する
 - 反省会を行い、問題点などを話し合い、次回の改善につながる
 - 参加者の声を共有する
 - 参加しなかった方の声かけを行う
 - スタッフ同士でお互いねぎらい、心のケアをする

富士宮市社会福祉協議会
地域ささえあい係 ☎22-0054